

産婦人科

当科の方針と特徴

産婦人科の多岐にわたる分野に、最先端の、しかも心温まる医療を提供することが当科の使命と考えている（高度不妊治療を除く）。

産科は、地域周産期センターとして、また大阪府産婦人科診療相互援助システム（OGCS）の準基幹病院として、年間約800の分娩を管理している。ほとんどを個室化して、プライバシーに配慮した環境で、小児科との連携を常に行いながら総合病院ならではの安全な分娩を目指している。

婦人科は、良性疾患に対しては、腹腔鏡や子宮鏡を用いた、患者さんの身体に優しい手術の適応を常に考慮、しかし最終的には安全性を優先する判断を術前カンファレンスにて全員で確認している。腹腔鏡の傷は、臍部は5mmで臍の最も深い位置としており、臍付近での傷はほとんど残らないとあってよい。最近話題の単孔式腹腔鏡では、臍付近に傷が一つで綺麗になるとはいいながら臍周囲に数センチの傷が必要であり、当科では単孔式を臍部には用いる予定はない。

悪性疾患に対しては、術前の病期診断、組織診断についての検討と、年齢や合併症についての考慮をしつつ、機能温存が可能かどうかの判断を常に皆で討議して治療方針決定を行っている。

子宮頸がんには、センチネルリンパ節検索を用いた広汎性子宮全摘術、広汎性子宮頸部摘出術（トラケクトミー）を施行しており、PETで発見できないような微小なリンパ節転移の検索に役立っている。頸がんではすでにセンチネルリンパ節の検索症例数が50例を超えてその確実性・安全性が確認されたので、センチネルリンパ節が発見出来て（発見率は約80%）手術中に転移が無いことが確認されれば、広い範囲のリンパ節郭清は省略しており、順調に症例を重ねている。またトラケクトミー症例は60例を数え、9例の妊娠、7例の出産例を経験している（2例妊娠中）。

子宮体がんに対しては腹腔鏡での先進医療手術を経て、現在は保険算定の腹腔鏡下子宮体癌根治手術を施行している。また体がんに対してのセンチネルリンパ節検索・郭清もこの腹腔鏡下で行い、これはいまだデータ収集中であり、系統的な郭清を行っている。

放射線治療は放射線科とのカンファレンスを通じて、綿密な治療計画をたてている。抗がん剤治療は基本的には通院治療可能であり、腫瘍内科医との連携のもと外来化学療法室において十分な監視のもと施行している。また術後の合併症であるリンパ浮腫や排尿障害に対するサポート・治療が、看護師外来も含めてなされて効果をあげている。

女性骨盤外科分野は、メッシュ使用をとりやめ、従来からの骨盤臓器脱に対する治療を継続している。合併症や年齢に応じた治療が選択されて、高齢者の場合でも安全な治療となっている。ここでも看護師が排尿機能の評価、サポートを行っている。

(a) 産婦人科スタッフ医師15名（2015年12月31日現在）

医師名	卒業年	出身校名	着任年月日	身分
永野忠義	昭和54年	兵庫医科大学	平成17年9月1日	部長
寺川耕市	平成元年	京都大学	平成19年8月1日	副部長
辻なつき	平成17年	和歌山県立医科大学	平成19年4月1日	医員
自見倫敦	平成18年	産業医科大学	平成23年4月1日	医員
小菌祐喜	平成18年	大分大学	平成25年4月1日	医員
宮田明未	平成19年	神戸大学	平成21年4月1日	医員
安堂有希子	平成18年	大阪市立大学	平成27年5月1日	医員
隅野朋子	平成15年	関西医科大学	平成24年4月1日	医員
山本瑠美子	平成20年	神戸大学	平成24年4月1日	医員
出口真理	平成21年	滋賀医科大学	平成23年4月1日	医員
松岡麻理	平成22年	兵庫医科大学	平成27年4月1日	レジデント
門上大祐	平成23年	滋賀医科大学	平成25年4月1日	レジデント
瀬尾晃司	平成23年	京都大学	平成25年4月1日	レジデント
芝本拓巳	昭和57年	鹿児島大学	平成19年10月1日	副部長（嘱託）
古山将康	昭和55年	大阪大学	平成17年10月1日	非常勤

(b) 臨床業績等 (平成27年1月～12月)

総外来患者数：33,707人

総入院患者数：2,207人

総手術件数：1,653件 (入院・外来問わず、小手術も含む)

病床数：76床 (一部混合)

日本産科婦人科学会専門医制度卒後研修指導施設

周産期専門医制度指定研修施設

日本婦人科腫瘍学会専門医制度指定修練施設 (認定施設番号062709)

(c) 平成27年産婦人科主要手術件数：848件 (平成27年1月～平成27年12月)

平成27年総手術件数 1,653件 (入院・外来問わず、小手術も含む)		
婦人科悪性手術		
手術名	件数	備考
広汎子宮全摘	27件	
腹式子宮全摘	42件	
膣式子宮全摘	7件	
腹腔鏡子宮全摘	44件	
広汎子宮頸部摘出	6件	
悪性その他	8件	
その他の悪性開腹	14件	
円切・LEEP	74件	
婦人科悪性手術合計	222件	
婦人科良性手術		
腹腔鏡手術	195件	腹腔鏡下膣式子宮全摘 24件 腹腔鏡下筋腫核出 13件 腹腔鏡下子宮外妊娠手術 21件を含む
腹式子宮全摘	79件	
膣式子宮全摘	17件	
子宮鏡手術	36件	
子宮脱・尿失禁手術 (子宮全摘除く)	8件	
その他良性手術	88件	腹式筋腫核出 52件 腹式付属器腫瘍手術 22件
婦人科良性手術合計	423件	
産科主要手術		
帝王切開	187件	
頸管縫縮	16件	
産科主要手術合計	203件	
吸引分娩	58件	
外回転	17件	
流産手術	69件	
主要手術総合計	848件	

(d) 産科実績（平成27年1月～平成27年12月）

総分娩数（22週以降）：823件

帝王切開術：187件

NICU：有

母体外管理可能週数：妊娠26週以後

新生児に対する小児科の対応は、当直あり、24時間常時対応可能。

(e) 学会発表、論文発表

第25回きたの産婦人科セミナー

平成27年1月17日（土）於大阪

「子宮頸癌に対する妊孕性温存への挑戦」

辻なつき

第15回産婦人科手術・化学療法研究会

平成27年1月31日（土）於京都

「当院における子宮頸癌に対する同時化学放射線療法(CCRT)の治療成績」

山本瑠美子

第29回大阪温知会総会

平成27年2月28日（土）於大阪

「卵巣未熟奇形腫治療後に発症した growing teratoma syndrome の一例」

山本瑠美子

平成26年度集談会

平成27年3月14日（土）於大阪

「当院における子宮頸癌センチネルリンパ節生検の現況」

宮田明未、辻なつき、門上大祐、瀬尾晃司、花田哲郎、芝本拓巳、出口真理、山本瑠美子、隅野朋子、佛原悠介、小菌祐喜、自見倫敦、岩見州一郎、寺川耕市、永野忠義

第67回日本産科婦人科学会学術講演会

平成27年4月8日（木）～12日（日）於横浜

「超早産児において経膈分娩試行が児予後に与える影響」

宮田明未

第67回日本産科婦人科学会学術講演会

平成27年4月8日（木）～12日（日）於横浜

「センチネルリンパ節検索は腹腔鏡下広汎子宮全摘術に併用可能である」

永野忠義、辻なつき、宮田明未、瀬尾晃司、門上大祐、花田哲郎、出口真理、山本瑠美子、小菌祐喜、自見倫敦、岩見州一郎、寺川耕市

第67回日本産科婦人科学会学術講演会

平成27年4月8日（木）～12日（日）於横浜

「経膈エコーガイド下子宮体部筋層内ラジオアイソトープ(RI)投与は子宮体癌のセンチネルリンパ節SLN」検索に有用か」

自見倫敦、門上大祐、瀬尾晃司、花田哲郎、出口真理、山本瑠美子、佛原悠介、小菌祐喜、辻なつき、岩見州一郎、寺川耕市、永野忠義

第67回日本産科婦人科学会学術講演会

平成27年4月8日（木）～12日（日）於横浜

「卵巣悪性腫瘍の加療前FDG-PETのSUVmax値で組織型を推定することは可能か？」

岩見州一郎、門上大祐、瀬尾晃司、花田哲郎、出口真理、山本瑠美子、佛原悠介、小菌祐喜、自見倫敦、辻なつき、寺川耕市、永野忠義

第 67 回日本産科婦人科学会学術講演会

平成 27 年 4 月 8 日（木）～12 日（日）於横浜

「成熟嚢胞性奇形腫核出後に大量腹水・腹腔内播腫巣を認めた 1 例」

門上大祐、瀬尾晃司、花田哲郎、出口真理、山本瑠美子、佛原悠介、小菌祐喜、自見倫敦、辻なつき、岩見州一郎、寺川耕市、永野忠義

第 67 回日本産科婦人科学会学術講演会

平成 27 年 4 月 8 日（木）～12 日（日）於横浜

「子宮頸癌における Sentinel node navigation surgery(SNNS)に最適な条件の検討」

辻なつき、宮田明未、門上大祐、瀬尾晃司、花田哲郎、山本瑠美子、出口真理、小菌祐喜、自見倫敦、岩見州一郎、寺川耕市、永野忠義

第 132 回近畿産科婦人科学会学術集会

平成 27 年 6 月 27 日（土）～28 日（日）於神戸

「診断に苦慮した卵巣腫瘍合併子宮体癌の 1 例」

門上大祐、瀬尾晃司、花田哲郎、出口真理、山本瑠美子、佛原悠介、宮田明未、小菌祐喜、自見倫敦、隅野朋子、辻なつき、岩見州一郎、寺川耕市、永野忠義

第 132 回近畿産科婦人科学会学術集会

平成 27 年 6 月 27 日（土）～28 日（日）於神戸

「invasive implant を伴う境界悪性漿液性卵巣癌の 1 例」

瀬尾晃司、門上大祐、花田哲郎、出口真理、山本瑠美子、隅野朋子、宮田明未、佛原悠介、小菌祐喜、自見倫敦、辻なつき、岩見州一郎、寺川耕市、永野忠義

第 51 回日本周産期・新生児医学会総会および学術集会

平成 27 年 7 月 10 日（金）～12 日（日）於福岡

「広汎子宮頸部摘出術後の妊娠 5 例の周産期予後の検討」

自見倫敦、山本瑠美子、宮田明未、小菌祐喜、永野忠義

第 51 回日本周産期・新生児医学会総会および学術集会

平成 27 年 7 月 10 日（金）～12 日（日）於福岡

「出生前に診断可能であった軟骨無形成症の一例」

山本瑠美子、宮田明未、小菌祐喜、自見倫敦、永野忠義

第 8 回温知会サマークリニカルフォーラム

平成 27 年 7 月 20 日（月）於京都

「当院における双胎経膈分娩についての検討」

隅野朋子

第 26 回きたの産婦人科セミナー

平成 27 年 9 月 5 日（土）於大阪

「術前には診断し得なかった未破裂右卵管妊娠の 1 例」

瀬尾晃司

第 55 回日本産科婦人科内視鏡学会学術講演会

平成 27 年 9 月 10 日（木）～12 日（土）於横浜

「子宮体癌に対する腹腔鏡下センチネルリンパ節生検」(シンポジウム)

永野忠義

第 55 回日本産科婦人科内視鏡学会学術講演会

平成 27 年 9 月 10 日（木）～12 日（土）於横浜

「当院における腹腔鏡下広汎子宮頸部摘出術と腹式広汎子宮頸部摘出術の比較」（ポスター）

辻なつき、門上大祐、瀬尾晃司、松岡麻理、出口真理、山本瑠美子、安堂有希子、宮田明未、小菌祐喜、
自見倫敦、寺川耕市、永野忠義

第 53 回癌治療学会学術集会

平成 27 年 10 月 29 日（木）～31 日（土）於京都

「当院における子宮頸癌センチネルリンパ節生検の現況」

辻なつき

第 53 回癌治療学会学術集会

平成 27 年 10 月 29 日（木）～31 日（土）於京都

「浸潤子宮頸癌に対する広汎性子宮頸部摘出術」

永野忠義

第 7 回関西婦人科腫瘍・病理懇話会

平成 27 年 11 月 7 日（土）於京都

「卵巣癌として初回治療を施行した原発不明癌の一例」 4

安堂有希子、門上大祐、瀬尾晃司、松岡麻理、出口真理、山本瑠美子、隅野朋子、宮田明未、小菌祐喜、
自見倫敦、辻なつき、芝本拓巳、寺川耕市、永野忠義、弓場吉哲¹⁾

¹⁾ 病理部

第 6 回 Network Gynecologic Cancer

平成 27 年 11 月 13 日（金）於東京

「腹腔鏡を利用した婦人科悪性腫瘍の治療」（特別講演）

永野忠義

第 28 回日本内視鏡外科学会総会

平成 27 年 12 月 10 日（木）～12 日（土）

「開腹手術からイメージする頸癌の腹腔鏡手術」

永野忠義

論文・著書

Int Canc Conf J : Tetsuro Hanada, Natsuki Tuji, Hiromi Miyata

Successful delivery after abdominal radical trachelectomy followed by adjuvant chemotherapy
for advanced invasive uterine cervical cancer : a case report and literature review.

子宮体癌における腹腔鏡下リンパ節生検

Laparoscopic sentinel lymph node biopsy in endometrial cancer

自見倫敦、宮田明未、辻なつき、門上大祐、出口真理、山本瑠美子、佛原悠介、小菌祐喜、岩見州一郎、
寺川耕市、永野忠義

日本婦人科腫瘍学会雑誌 33:2:208-215

初期浸潤子宮頸癌におけるセンチネルリンパ節同定の試み

Lymphatic mapping and sentinel node biopsy in early stage cervical cancer

宮田明未、辻なつき、門上大祐、瀬尾晃司、花田哲郎、出口真理、山本瑠美子、隅野朋子、佛原悠介、
小菌祐喜、自見倫敦、岩見州一郎、寺川耕市、永野忠義

日本婦人科腫瘍学会雑誌 33:2:202-207

妊娠糖尿病と妊娠・周産期合併症との関連

山口恵理子、浜本芳之、本庶祥子、藤本寛太、岡村絵美、柴山惟、徳本信介、濱崎暁洋、永野忠義
産婦人科の実際 64:8:1069-1073 (2015年8月1日)